



# ましきな

校是：向学 誠実 開拓  
与論町立那間小学校  
TEL 0997-97-2278  
FAX 0997-97-4950



## 「奄美群島復帰70周年 11月全校朝会の話から」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

11月も半ばに入りました。さて先週は奄美群島日本復帰70周年記念与論町駅伝大会が行われ、ましきなチームが優勝、そして那間チームが4位、本校からも4名の子供が選手としてがんばってくれました。この1年は戦後復興70周年という言葉をよく耳にするとおもいます。先日11月11日(土)に奄美市では奄美群島日本復帰70周年記念式典が行われました。

来月、12月25日は与論島を含めた奄美群島が日本に復帰して70周年になります。

70年前、太平洋戦争で日本が降伏して、奄美群島や沖縄は日本と切り離され、アメリカがおさめるようになりました。島民は自由を奪われて、大変不便な生活を送らなければなりませんでした。

さてこれは何の実でしょう？そうです。ソテツの実です。朝の散歩の途中で見つけました。奄美地方では「なり」とも言うそうです。毒を抜いて食べないと危険です。当時は食べ物足りなくてこのソテツの実でおかゆを作ったり、サツマイモや木の実などでおなかを満たしたりしたそうです。



アメリカが発行したお金を使わなければならず、1日の働いた賃金はわずか。今みたいな校舎はなく、青空の下で勉強したり、かやぶき屋根などの粗末な学校も多かったそうです。今ではとても考えられませんね。

そんな中、「日本復帰の父」「奄美のガンジー」と呼ばれた「泉 芳朗(いずみ ほうろう)氏」が奄美大島日本復興協議会の議長に選ばれ、復帰運動の中心となって奄美群島の島民をリードしました。署名運動や断食で日本復帰を訴えたのです。「奄美群島の島民は日本人。奄美を日本に返してほしい。」と必死に訴えました。しかしながたの沖永良部島と与論島は返還しないという知らせがあり、さらに必死に訴え続けました。そうして70年前の1953年12月25日に奄美群島全てが日本復帰となりました。沖縄はさらに20年遅れて日本復帰となりました。昨年、沖縄は日本復帰50周年記念式典がありましたね。



奄美市HPより

このようにみなさんの先人が一生懸命復帰運動をおこしたからこそ、今があることを忘れてはなりません。そして今なお、世界ではウクライナ・ロシア戦争やイスラエルとパレスチナとの戦いで、毎日多くのかげがえのない命が奪われています。この世から1日でも早く戦いがなくなることを心から祈りたいと思います。

学級では多少のトラブルもありますね。みんなが笑顔になるために、みんなのできる大切なことが4つあります。8月21日の出校日や2学期の始業式で話したことです。

- ① 自分の思いを伝える前に相手の気持ちを考えること
- ② 差別をせず違いを認め合うこと
- ③ 友だちのよいところを見つけること
- ④ みんなの笑顔のために自分の力を使うこと

みんなが気持ちよく毎日を生活できるように、世界から戦いがなくなるようにみんなの力を日々の生活に生かしてください。よろしくお願ひします。

### 11月

- 14日(火) SSW 来校
- 15日(水) ユンヌフトゥバ学習
- 16日(木) 特別体育(5・6年) 特別講演会
- 17日(金) SC 来校
- 20日(月) 白バイ交流会・避難訓練(火災)・鹿児島学習定着度調査
- 21日(火) 教育相談(22日, 24日)
- 27日(月) 与論町相撲大会(5・6年)



### 12月

- 1日(金) 学級PTA・家庭教育学級
- 5日(火) 標準学力検査 CRT(～6日)
- 9日(土) 土曜授業・人権集会・PTA スポーツ大会・PTA 忘年会
- 15日(金) ユンヌフトゥバの日
- 16日(土) 第15回カルタ大会
- 22日(土) 終業式・大掃除
- 27日(水) ヨロン・おきなわ音楽交流祭
- 28日(木) 仕事納め(12/29～1/3 学校閉庁日)

